

A 赤い線の途中

標準の土台 | 解答・解説

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。別解・許容は使える表現や内容の例です。完成答案は指定字数・条件を満たしてください。

問1 当初の見方

答え：ウ

解説 ①末に、間違えず予定どおり進むことを成功と捉えていたとある。紙地図への否定一般ではない。

採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問2 体験と心の動き

答え：ア

解説 「どうでもいいことでまた時間を」と考えながら、もう一度聞いている。抵抗と関心が同時にある。

採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問3 記憶の捉え方

答え：イ

解説 音の記憶の不確かさと、動きや位置を思い出す働きを分けている。

採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

解き直しメモ 不足した内容と、本文の根拠を確かめよう。

A 赤い線の途中

標準の土台 | 解答・解説 | つづき

問4 比喻の内容 8字

答え：立ち止まった時間

解説 線は通った道だけでなく、そこで何をしたかという個人の経験を呼び戻す。
採点の目安 指定の表記・範囲・字数のすべてを確認する。

問5 限定の役割

答え：ア

解説 「だからといって」と転じ、単純な「失敗はよい」という教訓にしないよう見方を限定する。
採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問6 体験と気付き 解答例 70字

解答例：欄干の音を確認するため戻り、友人が先で待ったことなどを思い出す手がかりとなり、場所だけでなく、その日に二人が過ごした時間を残すものになった。

解説 地図一般の機能と個人的な記憶の機能を区別する。地理を全部理解した証拠ではない。
別解・許容 体験例は、道を間違えていら立ったことでも可。ただし赤い線とその日の経験を結び付ける。
採点の目安 具体的体験、記憶を呼び戻す働き、過ごした時間の跡という意味。必要な内容が一部だけなら、その点を確認して補う。指定字数と表記も確認する。

解き直しメモ 不足した内容と、本文の根拠を確かめよう。

A 赤い線の途中

標準の土台 | 解答・解説 | つづき

問7 言い切りの検討 解答例 76字

解答例：展示を見られなければ落ち込んだだろうと述べ、事前の計画があったから歩く余裕も持てたとしているので、予定から外れることを無条件によいと考えるはいないから。

解説 「必ず」を裏付ける本文はない。偶然の発見と、計画が果たした役割を共に読む。

別解・許容 いら立ちを美化したくないという点と、計画が役立ったという点の組み合わせも可。

採点の目安 本文に即した第一の内容、異なる第二の内容、無条件の一般化を否定する説明。

必要な内容が一部だけなら、その点を確認めて補う。指定字数と表記も確認する。

問8 結末の表現 解答例 76字

解答例：記憶が正確とは限らないと認めながら、自分たちが聞き分けた経験を少し具体的に残し、地図を町の知識だけでなく、その日の選択の跡として大切にしようとする姿勢。

解説 「二つ」は音の高さを断定せず、聞き比べた経験を具体化する。記憶が完全に復元されたわけではない。

別解・許容 「不確かな記憶を確認めつつ、自分たちの体験を書き留め直す」も可。

採点の目安 記憶の不確かさ、体験を具体的に残す行動、経験の跡を大切にする意味。必要な内容が一部だけなら、その点を確認めて補う。指定字数と表記も確認する。

解き直しメモ 不足した内容と、本文の根拠を確認めよう。

B パンが冷めるあいだ

標準 | 解答・解説

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。

問1 体験前の価値観

答え：ウ

解説 おいしい状態を逃さないことと、朝の成功とを結び付けている。

採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問2 感覚の変化

答え：イ

解説 焼き直さずそのまま食べ、匂いと硬さ・柔らかさの違いを知る。

採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問3 見方の捉え直し

答え：ア

解説 直前の文が内容。「誰にとっても」という一般的評価をしてはいない。

採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問4 体験を表す言葉 8字

答え：台所を通っていた

解説 時間が実際に歩くわけではない。食事だけではない母の行動の流れが、同じ場所にあると表す。

採点の目安 指定の表記・範囲・字数のすべてを確認する。

問5 他者への理解

答え：イ

解説 自分の発見と他者の忙しさを区別し、本人が同じように感じるとは限らないと考えている。

採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

B パンが冷めるあいだ

標準 | 解答・解説 | つづき

問6 変化の説明 解答例 76字

解答例：初めは熱いうちの短い時間だけがおいしいと思っていたが、冷めると匂いや食感の別の面が分かると知り、温度の変化後にも味わえるものがあるようになるようになった。

解説 熱いか冷たいかの好みの逆転ではなく、おいしさの時間を狭く決めなくなる変化。

別解・許容 「熱い時を逃した後を失敗扱いしなくなった」という説明も可。

採点の目安 変化前、具体的な感覚の発見、変化後の見方。必要な内容が一部だけなら、その点を確かめて補う。指定字数と表記も確認する。

問7 他者の時間 解答例 76字

解答例：母は私には熱いうちに食べるよう促す一方、自分は食事の途中にも家事で席を離れており、同じ台所でも二人が同じ速さや順序で過ごしているわけではないという違い。

解説 母の言葉だけから本人も熱いうちに食べていると考えていたことが修正される。

別解・許容 「母の食事の時間には家事が入り込んでいる」と具体化しても可。

採点の目安 私への言葉、母の食事時の家事、同じでない過ごし方。必要な内容が一部だけなら、その点を確かめて補う。指定字数と表記も確認する。

問8 題材と考えの広がり 解答例 85字

解答例：パンには温度が変わって初めて分かる味わいがあり、家族にも食事の間に別の用事をする過ごし方があるため、自分の理想のタイミングだけで味や朝のよしあしを決められないということ。

解説 食べ物の変化から、同じ卓の他者の過ごし方へ考えが広がる。ただし忙しさを勧める結論ではない。

別解・許容 「自分が望む速さを、物や他者にも唯一の基準として当てはめない」という趣旨も可。

採点の目安 パンの味の変化、人の過ごし方の違い、単一の基準で評価しないこと。必要な内容が一部だけなら、その点を確かめて補う。指定字数と表記も確認する。

C 名前の札の後ろ

発展・応用 | 解答・解説

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。

問1 体験と認識

答え：ア

解説 白い額への気付き、別の日に早く追えることが、名前の助けになった具体例。
採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問2 自己評価のずれ

答え：ウ

解説 種類の確認はしているが、その朝の行動を丁寧に確かめていなかった。
採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問3 事実と推測

答え：イ

解説 動作は見たが、目的と運び先は確かめられていない。
採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

問4 対比する表現 12字

答え：名前の札を掛けたところで

解説 後ろに「見るのを終えていた」と続く。名前を知ること自体ではなく、その時点で終えることを問題にする。
採点の目安 指定の表記・範囲・字数のすべてを確認する。

問5 限定と主旨

答え：イ

解説 ②の利点と③の問題を共に踏まえ、知識を捨てるという極端な解釈を防ぐ。
採点の目安 正しい記号を一つ選んでいるか確認する。

C 名前の札の後ろ

発展・応用 | 解答・解説 | つづき

問6 比喩の意味 解答例 74字

解答例：覚えた鳥の名前や特徴は手がかりとして使い続けながら、名前が分かっただけで終わらず、その鳥が今どんな動きをしているのかを改めて詳しく見たいということ。

解説 札は名前・分類、後ろはその個体の具体的な行動など。知識と観察は二者択一ではない。

別解・許容 「名前という知識を生かし、知らない点にも目を向けたい」も可。

採点の目安 知識を捨てないこと、名前だけで終えないこと、具体的な動作を観察すること。

必要な内容が一部だけなら、その点を確認めて補う。指定字数と表記も確認する。

問7 書き方の工夫 解答例 69字

解答例：茎を運ぶ動きは実際に見たが、それが巣の材料を集めるためかは確かめていないので、観察した事実と今後調べる推測とを混同しないよう区別するため。

解説 巣の材料という推測が誤りだと証明されたわけではない。確かめた範囲を明示する線である。

別解・許容 「目的は未確認だと分かる形で記録するため」も可。

採点の目安 観察した動き、目的が未確認であること、事実と推測の区別。必要な内容が一部だけなら、その点を確認めて補う。指定字数と表記も確認する。

問8 結末の見方 解答例 82字

解答例：初めは名前が埋まらなないと観察できていないと感じたが、今は知っていることを書くだけでなく、未確認の疑問を残す場所とも考え、次に何を見たいかを決める手がかりにしている。

解説 ⑦は不足を全面否定せず、空白に次の観察へつながる意味も見いだす。

別解・許容 「空欄の不足も認めつつ、全部を埋めて終わりとせず疑問を持ち帰る」も可。

採点の目安 以前の否定的な見方、未確認の疑問を残す見方、次の観察へのつながり。必要な内容が一部だけなら、その点を確認めて補う。指定字数と表記も確認する。

D 傘の内側

入試形式テスト | 解答・解説 | 100点満点

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。記述の配点と減点は各問の採点基準を確認してください。

問1 描写と発見 (8点)

答え：イ

解説 軽さと畳みやすさから、内側の模様へと注意が移る。「空の絵ではない」とある。
採点の目安 正答8点。

問2 説明の確かさ (8点)

答え：ウ

解説 原因を「だろう」と推測し、条件が一定でないため「いつも」は分からないとする。
採点の目安 正答8点。

問3 体験の内容 (8点)

答え：ア

解説 肩の隙間ごとに位置を直し、幅を何度も確かめている。結果は両者の片袖がぬれる。
採点の目安 正答8点。

問4 比喩の抜き出し (8点) 10字

答え：自分だけの小さな部屋

解説 周囲から区切られ、自分のために守られた場所として捉える表現。その後に共同で入った経験が続く。
採点の目安 指定の表記・範囲・字数がすべて一致して8点。

問5 結末の限定 (8点)

答え：ア

解説 楽しみの発見と、不便の解消を混同していない。「それでも」と次の感じ方へ続く。
採点の目安 正答8点。

D 傘の内側

入試形式テスト | 解答・解説 | 100点満点 | つづき

問6 比喩の捉え直し〔20点〕 解答例 75字

解答例：傘の大きさ自体は同じでも、二人の立つ位置や歩き方に合わせて傘を動かすことで、雨から守れる範囲や見える高さが変わり、感じられる空間が変わったということ。

解説 物理的に傘が伸びたのではなく、人との関係で経験される内側が変化した。

別解・許容 「一人の専用の空間から、相手との位置関係で変わる空間になった」も可。

採点の目安 物の大きさは不変4点、二人の位置・動作の具体例8点、守る範囲など感じる空間の変化8点。内容点の合計から、字数範囲外は2点、意味に影響しない誤字・脱字は合計1点を減点する。各問の下限は0点。

問7 体験から考えへ〔20点〕 解答例 88字

解答例：家で同じ傘を開いても雨音や友人の足音は戻らず、青い模様が同じでも感じ方が違ったため、面白さは傘そのものだけでなく、雨や道、一緒に歩く人との組み合わせから生まれると分かったから。

解説 同じ物を別の条件で見る体験を、考えの根拠にしている。傘の模様が無価値だという意味ではない。

別解・許容 「物を手に入れるだけでは、そのときの経験は再現できない」という説明も可。

採点の目安 家で音が戻らないこと6点、同じ物でも感じ方が異なること6点、周囲との関係で面白さが生まれること8点。内容点の合計から、字数範囲外は2点、意味に影響しない誤字・脱字は合計1点を減点する。各問の下限は0点。

問8 結末と全体のつながり〔20点〕 解答例 85字

解答例：外側から傘を見る弟には灰色が目印になる一方、筆者には内側の模様に気付き友人と歩いた経験があるため、同じ物でも関わり方や過ごした時間によって思い浮かぶ姿が異なるということ。

解説 弟が観察不足だと批判してはいない。外からの目印と、使った本人の記憶との違いを示す。

別解・許容 「名前や色だけでは含み切れない、自分の経験に結び付いた物の姿」という趣旨も可。

採点の目安 弟の外側の目印6点、筆者の具体的な体験6点、同じ物の見え方が経験で異なること8点。内容点の合計から、字数範囲外は2点、意味に影響しない誤字・脱字は合計1点を減点する。各問の下限は0点。